

事例報告

JAIRO CloudへのSCfWを活用した リポジトリシステム移行について

2016年5月26日

学術情報基盤オープンフォーラム2016

近畿大学中央図書館事務部 伊豆田 幸司

目次

1. 近畿大学学術情報リポジトリ
2. リポジトリシステム移行の経緯
3. 作業について
4. 移行後の状況
5. 今後の展開

1.近畿大学学術情報リポジトリ

沿革

- 2008年3月19日 試験公開
(システムはXooNIps、サーバは学内に設置)
- 2008年10月1日 本公開
- 2016年4月1日 システムをJAIRO Cloudに
更改



2008.3-2016.3

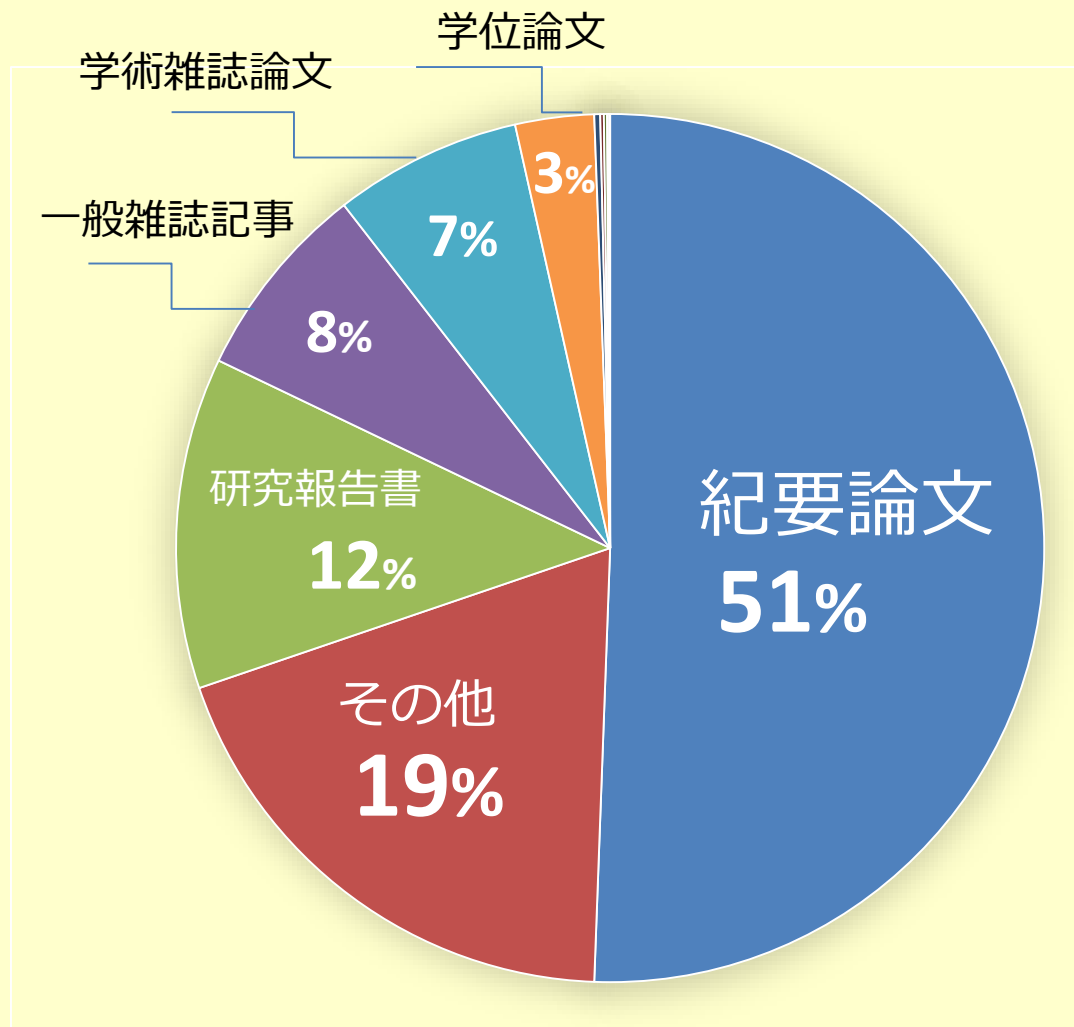


2016.4-

1.近畿大学学術情報リポジトリ

– 2016年4月末の
公開コンテンツ数
(本文公開数)
9,072件

データ量は
約15GB



※参照 : IRDB <http://irdb.nii.ac.jp/analysis/index.php>

2.リポジトリシステム移行の経緯

- 要件

- サーバ保守の期限（2016年3月末まで）
- ソフトウェア面（junii2 Ver.3～への対応等）
- クラウドの利用
- カスタマイズを行わない

2.リポジトリシステム移行の経緯

- JAIRO Cloud採用の決め手
 - データ移行ツールSCfWが整備されていた
 - システム環境（クラウド）
 - システムの普及度
 - 関連機能の充実

3.作業について

内容/時期	2015年				2016年			
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
JAIRO Cloud利用申請関係								
共用リポジトリサービス利用申請								
利用申請許可								
環境設定完了								
データ移行作業								
現行サーバからのデータ引抜・調査								
試験環境構築（ノートPC上）								
移行項目表作成・確認								
試験環境へのデータインポート								
エラー・ワーニング内容の確認・対応検討								
データの修正								
本番環境の準備								
本番環境へのデータインポート								
公開前の調整								
新リポジトリサイト作成								
JAIRO Cloudでの公開								

3.作業について

- 手動でデータ修正が必要だった点
 - 一定の条件下で、著者データに自動で分かちが入る
 - データソートの項目がXooNIpsと異なっていた
 - データ記述の関係で、一部データがそのままコンバートできなかった

4.移行後の状況

- サービス・業務
 - レスポンス、操作感覚、各種機能等については想定どおり
- 課題
 - リンクの問題（教員の個人HP） など

5. 今後の展開

- 更なるコンテンツ数の増加
- junii2 ver3.1の記述対応
- DOIの設定

ご静聴ありがとうございました